

# CentreCOM® 8116 リリースノート

この度は、CentreCOM 8116 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。  
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。


## 1 ソフトウェアバージョン 2.26

## 2 本バージョンで修正された項目

2.1 Telnetセッションからポートステータスの変更を行った場合、本製品がリブートする問題  
がありましたが、これを修正しました。

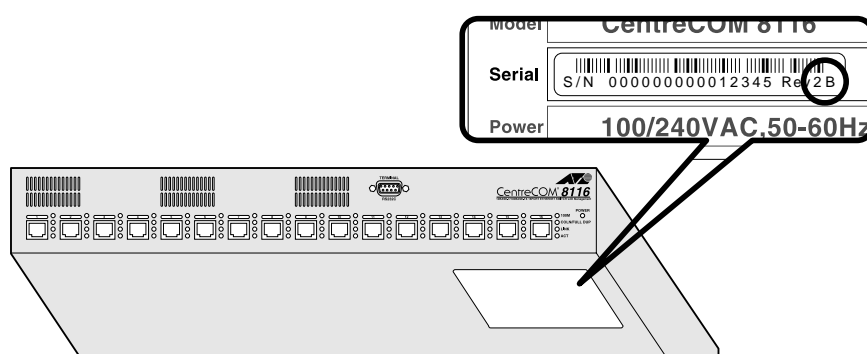
## 3 マニュアルの補足事項

### 3.1 本体前面 100M LED について

 「ユーザーマニュアル」1-7 ページ

本体前面100M LEDの点灯方法が、製品リビジョンによって異なりますのでご注意ください。製  
品リビジョンは、本体底面に張り付けてある(または製品に添付されている)バーコードシールに  
記載されています。

注: 本体前面100M LEDの点灯方法のみ製品リビジョンによって異なります。その他の仕様  
に差異はありません。



#### Rev2B 以降の製品

本体起動時に点灯します。

ポートが 100Mbps で動作している場合は、そのまま点灯し続けます。

10Mbps で動作している場合は消灯します。

#### Rev1A、2A の製品

本体起動時のセルフテスト終了後に消灯します。

ポートが 100Mbps で動作している場合に点灯します。

10Mbps で動作している場合は消灯します。

### 3.2 RMON 機能についてのご注意

RMON 機能において以下の制限がありますのでご注意ください。


- HistoryControlInterval の初期値は 1800 となっています。
- HistoryControlBucketsRequested において作成可能なテーブル数は、1 ポートあたり最大 500、装置あたり最大 2000 となっています。
- HistoryControlEntry に設定できるエントリ数は 20 エントリまでとなっています。

### 3.3 スパニングツリー機能についてのご注意

スパニングツリーを使用する場合は、VLAN (バーチャル・ブロードキャストドメイン / セキュリティ VLAN) を工場出荷時の設定にしてください。

登録した複数の VLAN ごとにスパニングツリーを設定することはできませんのでご注意ください。

### 3.4 Telnet 接続に関するご注意


 「ユーザーマニュアル」 2-5、3-9 ページ

Version 2.24 未満と Version 2.24 以降のソフトウェアでは、同時に開くことのできる Telnet セッション数が異なりますのでご注意ください。

ソフトウェアのバージョンは、sys-stat コマンドで確認することができます。

	Version 2.24 未満	Version 2.24 以降
Telnet セッション数	5	2

### 3.5 バーチャル LAN (VLAN) 設定時のご注意

 「ユーザーマニュアル」 3-36 ページ

本製品は、VLAN の設定において 2 種類のポート・グルーピング方式をサポートしています。

- 「セキュリティ VLAN」によるグルーピング
- 「バーチャル・ブロードキャストドメイン」によるグルーピング

各仕様を以下に示しますので、内容をご確認の上ご使用ください。

特に、バーチャル・ブロードキャストドメインを設定する際は、ネットワーク環境によって障害が発生する可能性がありますのでご注意ください。

#### セキュリティ VLAN の仕様

セキュリティ VLAN は、設定した VLAN 内のすべてのパケットに対してフィルタリングが有効です。

隣接する 2 つのポートを 1 グループとしたポートグループ a ~ h があらかじめ定義されており、このポートグループがセキュリティ VLAN を構成する最小単位となっています。

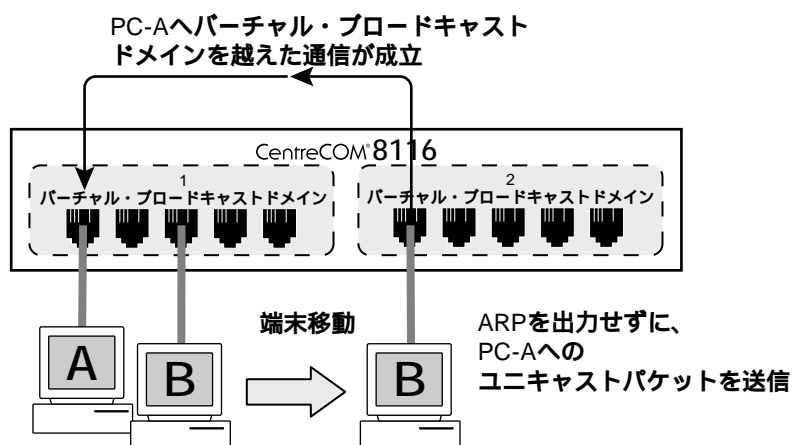
### バーチャル・ブロードキャストドメインの仕様

バーチャル・ブロードキャストドメインは1ポート単位で組み合わせを設定することができます。ただし、1つのバーチャル・ブロードキャストドメインを構成するには2ポート以上の組み合わせが必要です。

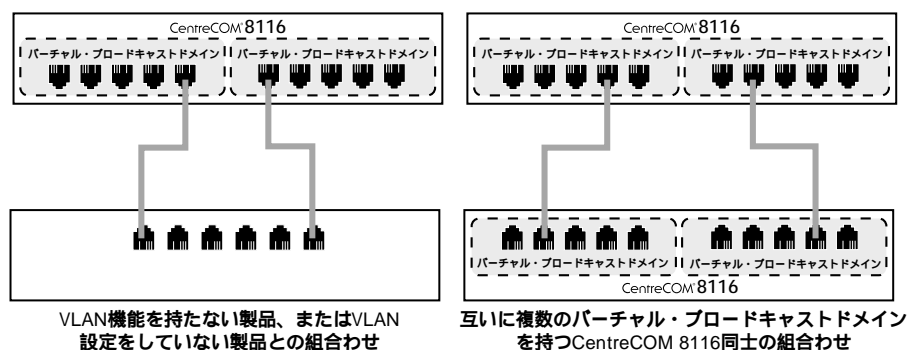
また、バーチャル・ブロードキャストドメイン内でフィルタリングが可能なパケットは、マルチキャストパケットとブロードキャストパケットのみとなっておりますので、設定の際は次の点にご注意ください。

ARPパケットを出力しない一部ホスト系のネットワーク機器を接続した場合、異なるバーチャル・ブロードキャストドメインへパケットが転送されることがあります。

バーチャル・ブロードキャストドメイン1からバーチャル・ブロードキャストドメイン2へPC-Bを移動後、PC-BのARPテーブルをクリアせず、PC-Aへの通信を行った場合、バーチャル・ブロードキャストドメインを越えてパケットが送信されます。



下記のような構成で、本体に登録されていない端末(アドレス)にむけたユニキャストパケットがネットワーク上に発生した場合、このユニキャストパケットによって無限ループが発生します。






## 4 マニュアルの誤記訂正


### 4.1 パスコストの設定について


スパニングツリーパラメータのパスコストの設定について、ユーザーマニュアルではルートコストの設定範囲を 0 ~ 65535 と明記していますが、ルートコストを 0 に設定する機能はサポートしておりませんので、訂正してお詫びいたします。

ルートコストは、1 ~ 65535 の範囲で設定してください。また、パスコストのデフォルト値は、「100」と記載されていますが、正しくは「10」となります。


 「ユーザーマニュアル」3-64 ページ

path\_cost:       ルートコストを 0 ~ 65535 の 10 進数で入力します。  
                    ルートコストを 1 ~ 65535 の 10 進数で入力します。

 「ユーザーマニュアル」3-68 ページ



Path Cost:       100      0 - 65535  
                    10        1 - 65535

### 4.2 get-port-cfg の説明について


 「ユーザーマニュアル」3-49、3-50 ページ

get-port-cfg コマンドの LAN\_TYPE の説明に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。



get-port-cfg

•LAN_TYPE		ETH10	10Mbps 固定に設定されています。
		ETH100	100Mbps 固定に設定されています。
		ETH10/100	10/100Mbps 自動認識に設定されています。
		ETH10/100	100BASE-TX/10BASE-T 自動認識ポートです。

### 4.3 バーチャル LAN コマンドの共通パラメータ「nvram」について

 「ユーザーマニュアル」3-36 ~ 3-48 ページ

バーチャル LAN コマンドの共通パラメータ「nvram」が下記構文内で誤って「nvam」と表記されていたので、訂正してお詫びいたします。

	
set-vc-domain {run  <u>nvam</u>  all} <port_list>	set-vc-domain {run  <u>nvram</u>  all} <port_list>
del-vc-domain {run  <u>nvam</u> } <domain_id>	del-vc-domain {run  <u>nvram</u> } <domain_id>
get-vc-tbl {run  <u>nvam</u> }	get-vc-tbl {run  <u>nvram</u> }
set-sec-vlan {run  <u>nvam</u> } <group_list>	set-sec-vlan {run  <u>nvram</u> } <group_list>
del-sec-vlan {run  <u>nvam</u> } <lan_id>	del-sec-vlan {run  <u>nvram</u> } <lan_id>
get-svlan-tbl {run  <u>nvam</u> }	get-svlan-tbl {run  <u>nvram</u> }
get-svlan-matrix {run  <u>nvam</u> }	get-svlan-matrix {run  <u>nvram</u> }